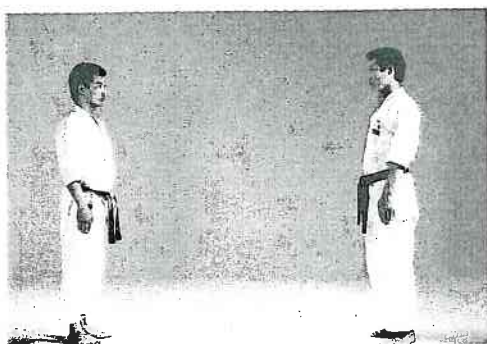


組手

基本組手十本

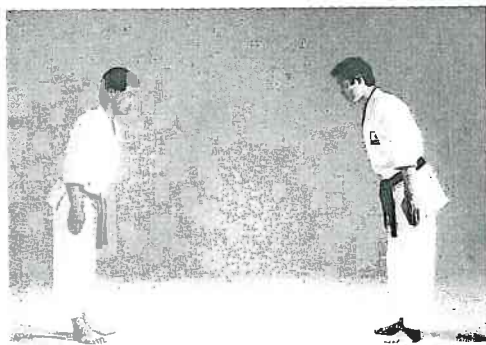
③右肩の数字は本数と順序を示す。

①

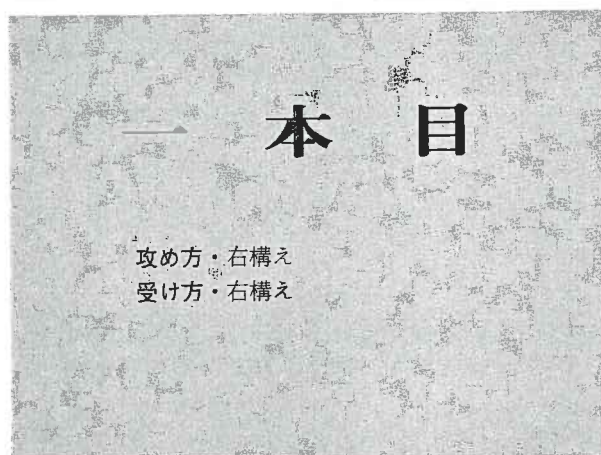


両者直立の姿勢で向い合う。

②



両者礼をかわす。



③



攻・右足を一步出し右構え、にじり寄りで間合をつめる 受・左足を一步後ろに引き右構え。

1
1
(1)

④



攻・右拳上段とび込み突き。左拳は胸前に構え。
受・体をやや斜め後ろに捌き、右拳上段払い流し受け。

1
(2)

⑤



(2)の反対側。(受け方の左拳は胸前に構える。)

⑥



攻・右足をすり足で進め左拳中段逆突き。
受・体、腰を右に捻りながら

1
(3)
a

⑦



攻・左拳中段逆突き、右拳は胸前に構える。
受・右拳下段払い同時に左拳(掌面上)中段突き。

1
(3)
b

⑧



(3)b の反対側

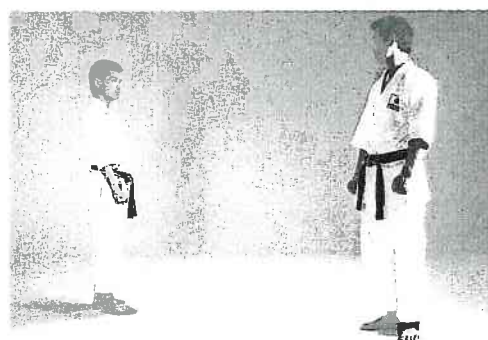
⑨



両者分れて右構え。

1
(4)

⑩



両者前足を引いて直立の姿勢となり、お互いに相手を見ながら元の位置に戻る。

1
(5)

三 本 目

①構え及び①、(2)は一本目に同じ
②(5)以後は一本目(4)以下に同じ

⑪



1-(2)と同じ。

2
(2)

⑫



攻・左足を素早く引きつけ右足刀で相手脇腹を蹴る。

2
(3)
a

⑬



受・左足をやや斜め後ろに移し、右足を引きつけ体を左捻して右拳(肘を軽く曲げ)下段払い。

2
⑭
(3)
b

(3b)の反対側

⑮



攻・蹴足をおろし四股立ち。受・相手の背面にとび込み、右横拳で肩甲骨下を、左手刀で浮肋骨を打つ。

2
⑯
(4)

(4)の反対側

⑰



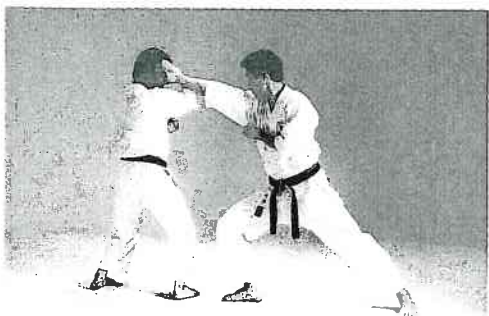
1-(4)以下に同じ。

2
⑱
(5)

三 本 目

- ①構え及び(1)、(2)は一本目に同じ
②(3)の後は一本目(4)以下に同じ

⑲



1-(2)に同じ。

3
⑳
(2)

攻・左足で中段前蹴りをしようとする。
受・相手の動きをとらえ、体をやや左捻しながら

3
(3)
a

20



受・右足をすり込み(右膝で相手右足を殺す気持)
右拳で水月、左拳(1本拳)で内股を突く。

3
3
b

21

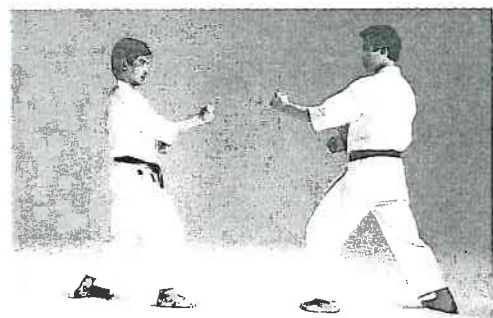


3b の反対側。

四 本 目

攻め方・左構え
受け方・右構え

22



攻・左構え。
受・右構え。

4
1

23



攻・間合を詰め、とび込み突きの動作にはいる。

4
2
a

24



攻・左拳上段とび込み突き。 受・1-(2)に同じ
(ただし、1本目よりやや大きく体をかわす)

4
2
b

25



(2)b の反対側。

26



攻・左足を軽く前へ進め、右拳上段逆突き。
受・右足を後ろに引きながら、左手刀上段払いの
動作。

4
3
a

27



(3)a の反対側。

28



受・体は柔かにし、左手刀で相手の右上段突きを払い流し、右拳は胸側に構え、

4
1
(3)
b

29



(3)b の反対側。

30



受・左手刀で相手右腕の肘から上膊を押えながら

4
1
(4)
a

31



(4)a の反対側。

32



受・(すり足で)とび込み、左手刀で相手右腕付け根を押え右拳(又は1本拳)で中段突き。

4
1
(4)
b

33



(4)b を受け手側からみる。

34



(4)b の反対側。

35



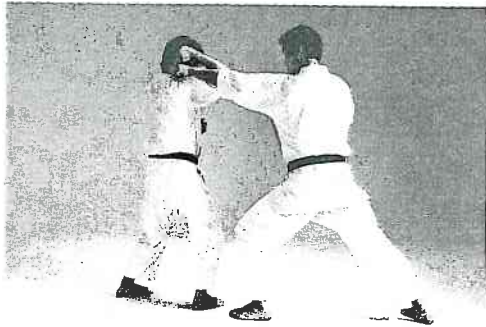
両者分れて(1)の構え、以後は1-(5)に同じ。

4
1
(5)

五 本 目

- ①構え及び(1)、(2)は四本目に同じ
- ②投げ技あり(小手投げ又は小手返しともいう)

36



4-(2)と同じ。

5
1
(2)

37



攻・(間合を詰め)右拳中段逆突き。
受・左足をやや斜後ろに引き、右足も引きつけながら

5
1
(3)
a

38



受・右拳前膊を水平にして振り下し、相手右拳を打ち落とし、

5
1
(3)
b

39



受・素早く左手で相手右拳親指側を掴み、

5
1
(3)
c

40



受・右足をやや前に進め、右横拳で相手の鼻をはね上げるように打ち、

5
1
(3)
d

41



受・さらに右足を前に進めて四股立ちとなり、右肘当てを中段に極める。

5
1
(4)

④2



④の反対側。

④3



受・右手で相手右拳の小指側を掴み(両手で相手右拳を挟み掴む形)

5
(5)
a

④4



受・両親指を相手右拳甲両にあて、相手手首を折るように逆をかけ体勢を崩す。

5
(5)
b

④5



受・体を左捻しながら、相手腕関節を引きしぼり相手手首を外側に十分捻って、

5
(5)
c

④6



受・相手を投げ、逆はとり続ける。

5
(5)
d

④7

攻・左足、左手で受け、右足は空中に構える。
受・右足先を相手肩下に入れ、右膝を相手肘に当て、5
(6)
a

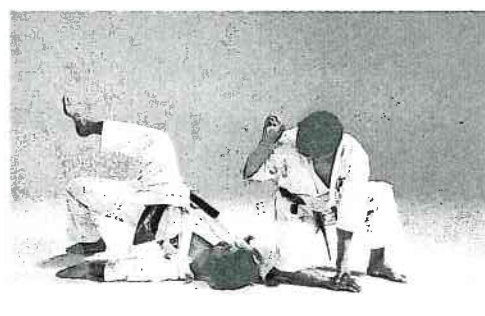
④8



受・相手腕をひきしぼりながら、右膝で相手腕を押え、相手の右手甲を上にも押しつける。

5
(6)
b

④9



受・左手で相手甲の親指側と小指側を押え

5
(7)
a

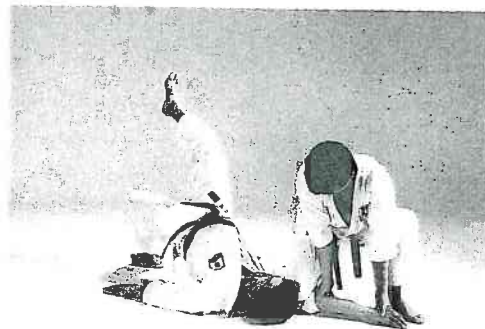
50



受・右手刀で顔面を打つ。

5
(7)
b

51



受・右手で相手の肘を押えてから、右膝をはなし

5
(8)
a

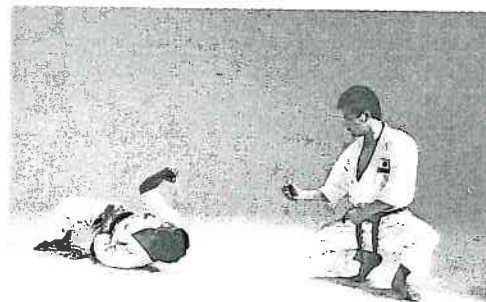
52



受・十分相手腕を押えたまま、右足を後ろ回しに引き、

5
(8)
b

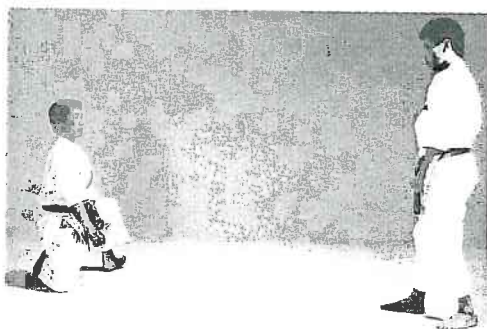
53



攻・右足を左外側につき、
受・両手を離すと同時に、さっと身を引き、

5
(9)
a

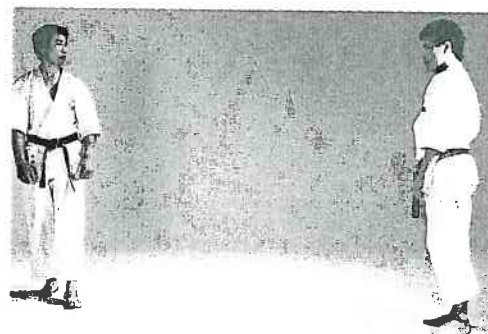
54



攻・体を左転して起し、
受・起立す。

5
(9)
b

55



両者直立して相対し、お互いに相手を見ながら元の位置に戻る。

5
(9)
c

六 本 目

- ①構え及び(1)、(2)は四本目に同じ
- ②(4)の後は四本目(5)以下に同じ

56



4-(2)と同じ。

6
(2)

57



攻・右足を約半歩前に送り、

6
|
(3)
a

58



攻・左足刀で相手脇腹を蹴る。

受・2-(3)に同じ(ただし斜め後ろにやや大きくかわす)

6
|
(3)
b

59



(3)bの反対側。

60



攻・左足を着地すると同時に、右拳上段逆突き。

受・体を右捻してかわしながら、右拳を手刀にし

6
|
(4)
a

61



受・右手刀甲側で、相手右腕外側を払い流し受け

6
|
(4)
b

62



受・体を十分右捻し、右手刀を外屈し甲側で相手右拳を払い押え、左拳(甲面下向き)中段突き。

6
|
(4)
c

七 本 目

- ①構え及び(1)、(2)は四本目に同じ
②(3)の後は四本目(5)以下に同じ

63



4-(2)と同じ。

7
|
(2)

64



攻・右足回し蹴りの動作にはいる。
受・相手に応じて体を左転しながら右拳は手刀にし、

7
1
(3)
a

65



攻・右足回し蹴り。 受・左拳は下段払いの要領でやや肘をまげ払い流し、右手刀上段打ち。

7
1
(3)
b

66



受・体を十分左転して右足をやや前に送り、右手刀で頸動脈を突き打つ、左拳は外側に払い流し。

7
1
(3)
c

67

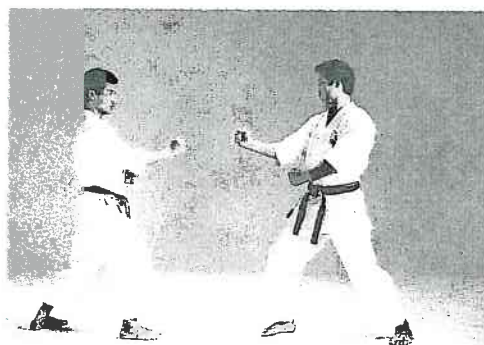


(3)cの反対側。

八 本 目

- ①攻め方は再び右構えとなる
- ②(7)以後は一本目(4)以下に同じ

68



1-(1)と同じ。

8
1

69



攻・右拳で中段(胸)にとび込み突き。
受・左足をやや後ろに引き体を左捻し、右前膊を立て

8
1
(2)
a

70



受・体を十分左捻し、右腕前膊を立てたまま内捻し、相手右拳を引き込むように流し払い受け。左拳胸前に構え。

8
1
(2)
b

71



攻・右足を前に進め左拳上段逆突き。受・左足を斜め後ろに引き体をやや沈め、右肘ではね上げ受け。

8

(3)

72



(3)の反対側

73



受・右足を前にすり込み、相手右脚外側に下段の順突き突き込み。

8

(4)

74



(受け方は右拳で相手右脚の付け根を突くのだが形として外側に突き込む。)

75



(4)の反対側。

76



受・上体を起し四股立ちになると同時に右肘中段当て。

8

(5)

77



(5)の反対側。

78



受・体を右転して相手側を向き、両手は手刀にし両前膊を立てて相手右腕をpushする。

8

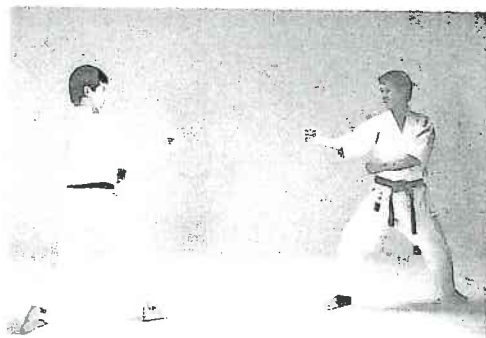
(6)

79



6)の反対側

80



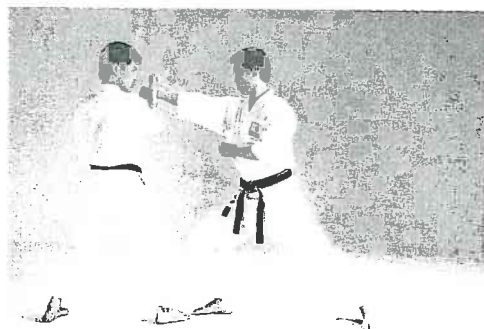
1 - (4)と同じ。

8
(7)

九 本 目

- ①構え方及び(1)、(2)は八本目に同じ
②(3)の後是一本目(4)以下に同じ

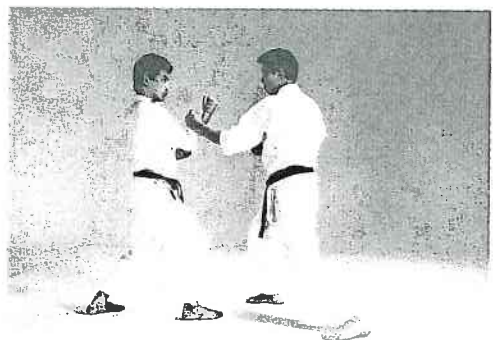
81



8 - (2)と同じ。

9
(2)

82



攻・右足を前に進め相手右腕上から左拳中段突き
受・左足をやや斜め後ろに引き

9
(3)
a

83



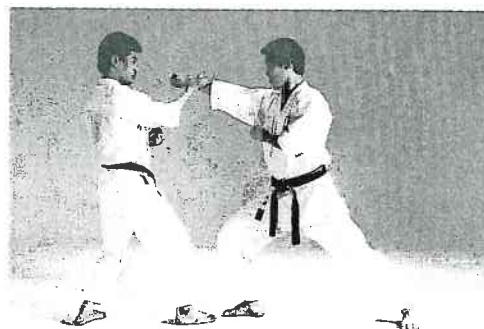
受・体を十分右転して突きをかわし、右手を外屈し甲面で相手左拳を払い押え、左拳(甲面下)中段突き。

9
(3)
b

十 本 目

- ①構え及び(1)は一本目と同じ
②(6)以下は五本目(9)以下に同じ

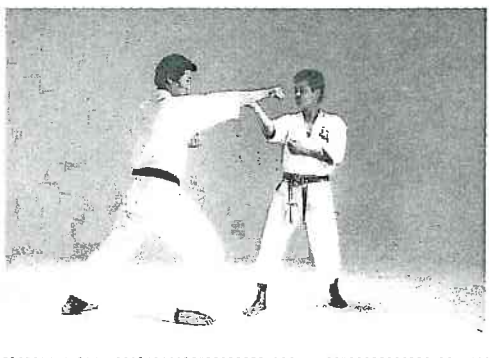
84



攻・右拳上段とび込み突き
受・左足を後ろに引き体を左捻し、右手刀で上段打ち払い。

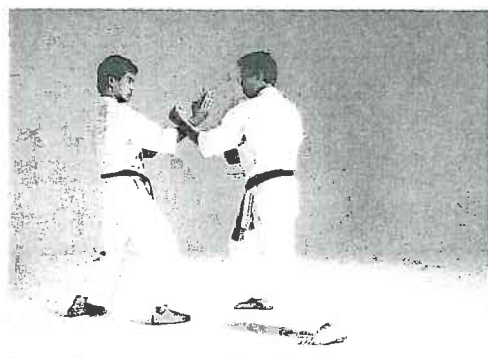
10
(2)

85



(2)の反対側。

86



攻・間合いをつめ、左拳上段逆突き
の動作。
受・右手刀を立てるようにし、

10
(3)
a

87



攻・左拳上段逆突き。
受・右手刀前膊で相手左拳を払い流しながら、

10
(3)
b

88



受・体をやや左捻して右足からとび込み右肘(縦
猿臂)で相手胸を打つ。

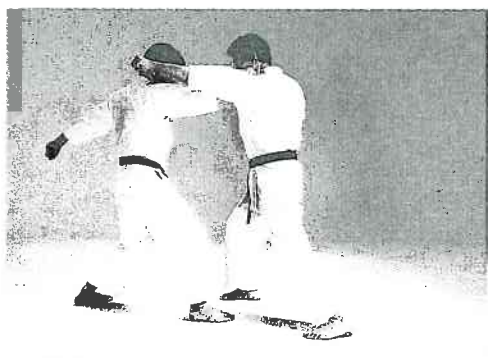
10
(3)
c

89



(3)cの反対側。

90



受・右手で相手の襟を掴み、

10
(4)
a

91



受・右手で襟を引き相手の体を横に崩しながら左
背刀で相手の金的を打つ。

10
(4)
b

92



(4)bの反対側。

10
(4)
b

93



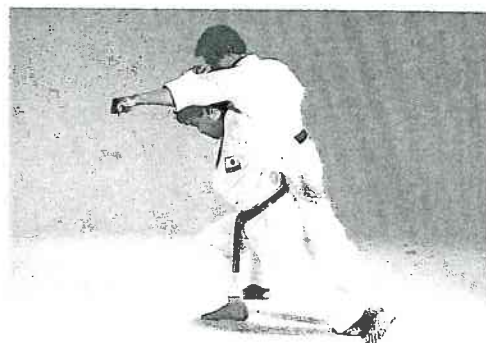
受・襟を掴んだまま、体を沈めながら十分右転して左足を相手左足外側に運び、

10

(5)

a

94



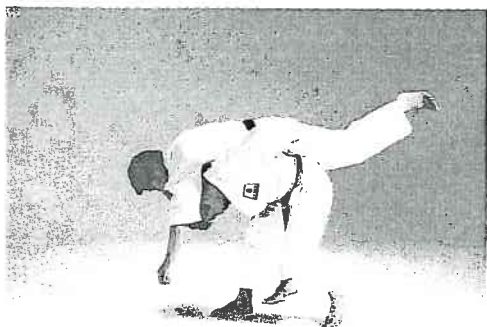
受・相手の体の下にはいり込んだ形で、左手を相手左脚に添て(又は掴む)、

10

(5)

b

95



受・体がかがめながら右手を強く引き、同時に腰で相手をはね上げ、

10

(5)

c

96



受・右足を引きながら、相手を投げとばす。

10

(5)

d

97



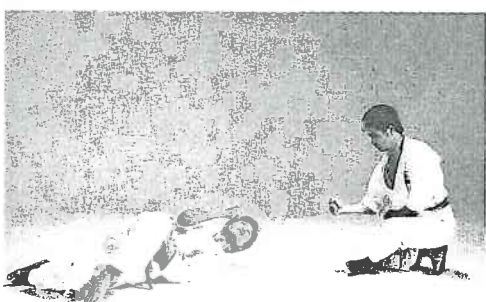
攻・相手を見ながら両手右足を構える。
受・相手を見ながら、左足を斜め前に出して構える。

10

(5)

e

98



攻・右足を左外側につき

10

(6)

a

99



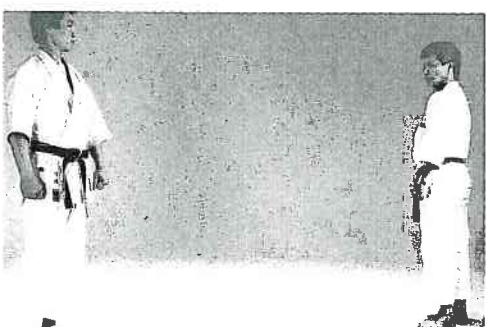
5-(9)bに同じ。

10

(6)

b

100



5-(9)cに同じ。

10

(7)